

GIGAスクール構想のもとでの 高等学校外国語科の指導について

GIGAスクール構想のもとでの高等学校外国語科の 指導においてICTを活用する際のポイント

1. 新学習指導要領（高等学校外国語）におけるICT活用の考え方

「第1款 目標」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの**言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して**、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（以下省略）

「3 指導計画の作成と内容の取扱い2（8）」

生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、**生徒の興味・関心をより高めるとともに**、英語による情報の発信に慣れさせるために、キーボードを使って英文を入力するなどの活動を効果的に取り入れることにより、**指導の効率化**や**言語活動の更なる充実**を図るようにすること。

2. 外国語教育におけるICT活用の主な利点

■ 言語活動の更なる充実

- ・英語話者との「本物のコミュニケーション」の機会の提供
- ・小規模校の生徒にとっての他校生徒や、学校規模を問わず日頃の授業では交流がない他学級の生徒等、多様な他者とのコミュニケーションの機会の提供
- ・電子メールやSNSを用いた実践的なやり取りの実現
- ・「聞くこと」や「読むこと」の言語活動におけるオーセンティックな教材の活用

■ 興味・関心の喚起と指導・評価の効率化

- ・やり取りや発表のモデル動画を共有フォルダに保存し、語彙や表現、話し方などを主体的に学ぶ機会の提供
- ・学習支援ソフトを利用して、児童生徒が各自作成した成果物を瞬時に共有・蓄積
- ・ブレインストームや英文作成などをICT端末を使って個別で行ったり協働で行ったりして、対話的に学ぶ機会の提供
- ・パフォーマンステスト等評価への活用
- ・遠隔地や海外の学校等との交流による多様な英語や異なる文化に触れる機会の促進